Make Value

Engineer Support Company

’27年1月期 第2四半期(中間期)
個人投資家向け説明会(廿日市)

2026年10月29日

－Create the Future－
ARTNER

JPX
PRIME

株式会社アルトナー https://www.artner.co.jp/

会社情報

名　　称	**株式会社アルトナー** (英訳名：Artner Co., Ltd.)
設　　立	**1962年9月18日** (昭和37年9月18日)
代 表 者	**代表取締役社長 関口相三**
株　　式	**東京証券取引所プライム市場** (証券コード：2163)
株主総会	**大阪にて開催**
資 本 金	**2億3,828万4,320円** (2026年1月31日現在)
本　　社	**東京／大阪**
事業拠点	**横浜／宇都宮／大阪／名古屋**
研修拠点(LC)	**東日本／西日本**
事業内容	**1)ソフトウェア　2)電気・電子　3)機械**　左記分野の基礎研究、設計開発、及び開発技術等の周辺業務
従業員数	**従業員数 連結：1,623人／単体：1,474人**(2026年1月31日現在)
許可番号	**労働者派遣事業** (派27－020513) ／**有料職業紹介事業** (27－ユ－020355)
グループ会社	**有限会社クリップソフト／株式会社情報技研**

Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

沿革(1953年創業時)

1953年～

■ 兵庫県尼崎市にて
有限会社関口興業社として創業



創 業

■ 設計部門より設計図面を預かり「白焼き」「青焼き」で複写・製本



■ 設計部門に頻繁に出入りする





■ 阪神工業地帯の重工業メーカーに対して「工業用手袋」の販売・製造



■ 理系社員を雇い設計図面のトレース業務を始める



■ トレース業務だけでなく、設計開発業務の需要が高まる

Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

沿革(1962年～現在)

1962年～

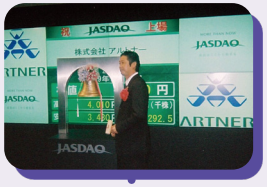
1962
派遣法施行
労働者

1986

■ 設計開発業務を行うため株式会社大阪技術センターを設立

1989
■ 関東事業所を開設


1998
ARTNER
Create the Future
■ 株式会社アルトナーに社名変更

2007
■ ジャスダック証券取引所に株式を上場


2017

■ 会社設立55周年／東京証券取引所市場第二部へ市場変更

2018
■ 東京証券取引所市場第一部銘柄に指定

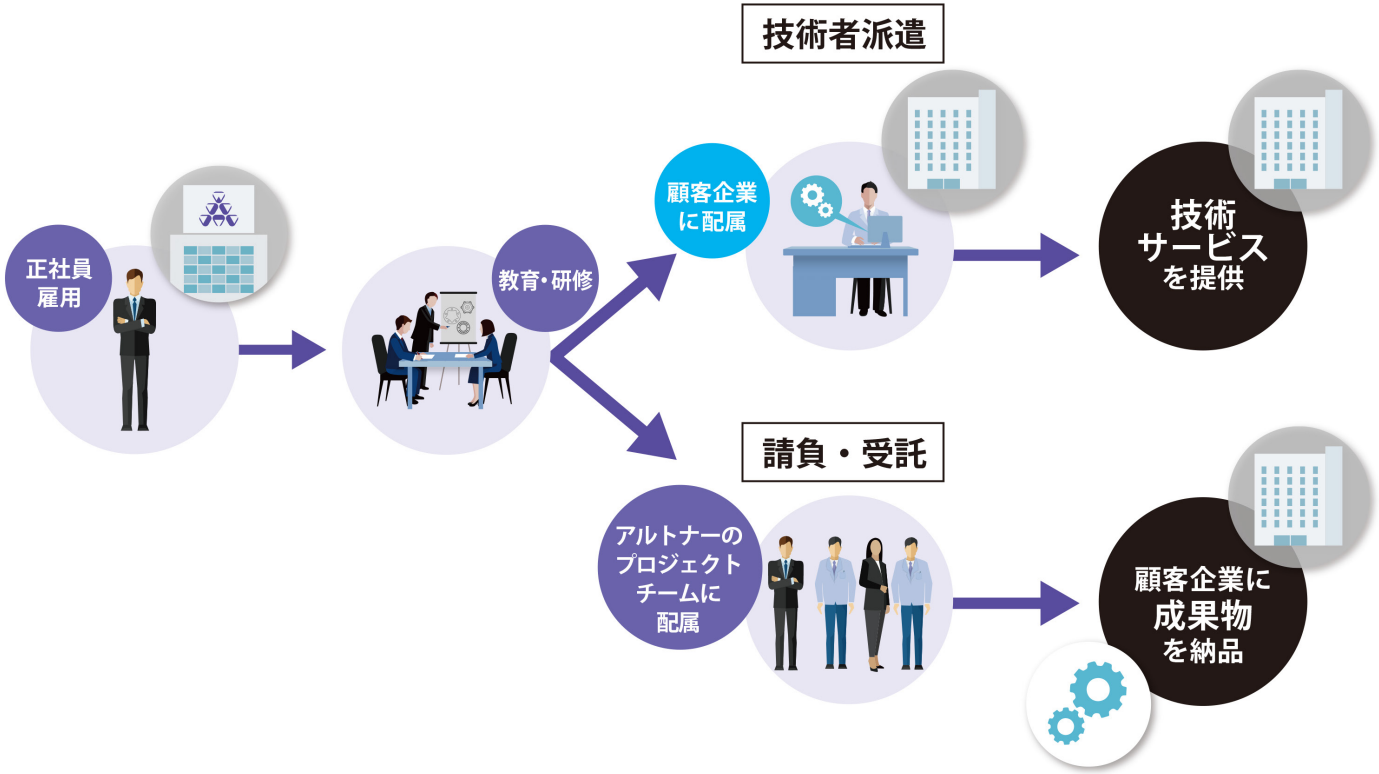
2022
東京証券取引所プライム市場へ移行
会社設立60周年
■ 中期経営計画スタート

2025
CLIPSOFT
情報技研
■ 有限会社クリップソフト株式会社情報技研をグループ会社化

Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

ビジネスモデル

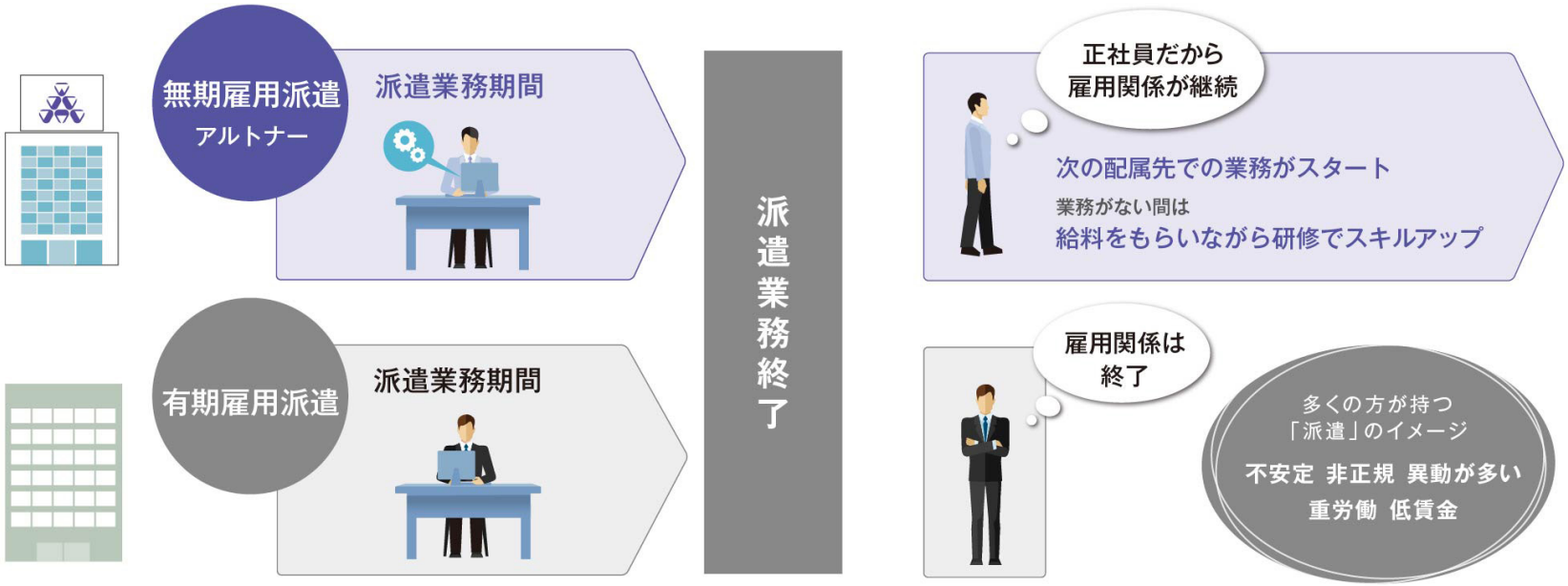
- 理系(工学部、理工学部、理学部、情報工学部)の大学生、大学院生、高専生、専門学生を正社員雇用。教育・研修を実施後、顧客企業または当社チームに配属
- 研修スタッフは、経験豊富な技術者出身
- 顧客企業は、輸送用機器、電気機器、精密機器メーカー、情報・通信会社



Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

アルトナーの雇用形態

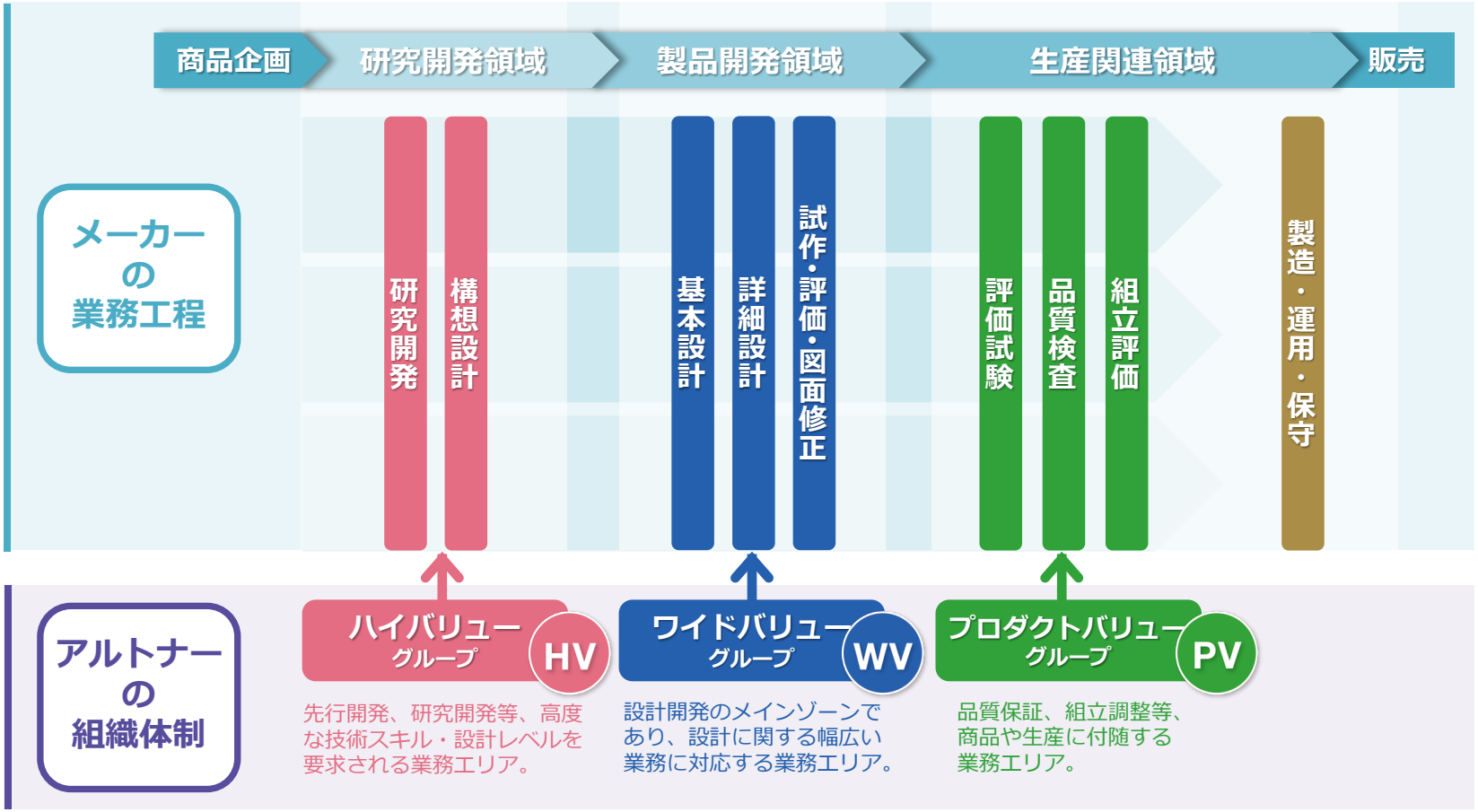
■ アルトナーの雇用形態である「無期雇用派遣」のエンジニアは「正社員雇用」されているので、1つの派遣業務が終了しても雇用関係は継続。



Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

メーカーの業務工程に対応する当社の各業務領域

- 上流工程は、景気の影響を受けにくいマーケット
- 設計開発のプロジェクトに重点的に配属(特に自動車メーカー)
- 上流工程への配属結果として、技術者単価が高くなる



Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

(単体)'26年1月期 顧客企業 売上高上位10社

■ 売上高 上位10社(敬称略)

	'25年1月期		'26年1月期	
	顧客企業	業　種	顧客企業	業　種
1	本田技研工業	輸送用機器	本田技研工業	輸送用機器
2	本田技術研究所	輸送用機器	本田技術研究所	輸送用機器
3	ニコン	精密機器	ニコン	精密機器
4	レーザーテック	電気機器	レーザーテック	電気機器
5	ボッシュ	輸送用機器	Astemo	輸送用機器
6	東京エレクトロン宮城	電気機器	ボッシュ	輸送用機器
7	Astemo	輸送用機器	住友電気工業	鉄鋼・非鉄・金属
8	テルモ	精密機器	テルモ	精密機器
9	日本電子	電気機器	東京エレクトロン宮城	電気機器
10	住友電気工業	鉄鋼・非鉄・金属	日本電子	電気機器

■ 10社ごとの売上高

	'25年1月期		'26年1月期		前　年 増減率 (%)	構成比 差異 (pt)
	実　績 (百万円)	構成比 (%)	実　績 (百万円)	構成比 (%)		
上位10社　計	5,357	48.3	6,141	51.6	14.6	3.3
上位11社~20社　計	1,507	13.6	1,542	13.0	2.4	▲ 0.6
上位21社~30社　計	959	8.7	945	7.9	▲ 1.6	▲ 0.7
上記以外　計	3,260	29.4	3,271	27.5	0.3	▲ 1.9
合計	11,085	100.0	11,901	100.0	7.4	—

※「その他」売上除く

Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

「カーボンニュートラル」等を含む設計開発プロジェクト

Create the Future ARTNER

SDV（ソフトウェア定義型車両）

- 電動パワーステアリングの制御ソフト設計
- HILSを用いたシステムテスト
- ブレーキ制御システムの開発
- 車両制御ECU開発



全固体電池／燃料電池

- 水素ステーションのシステムの研究開発
- 次世代燃料電池の研究開発
- 水素の安全性の研究開発
- 全固体電池の試作開発



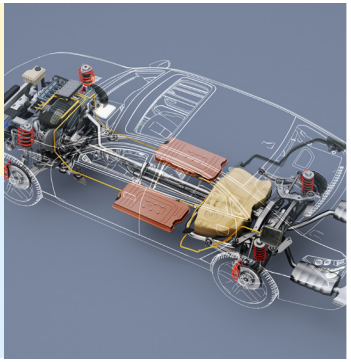
AI自動運転／ADAS

- AD/ADAS領域ソフトウェアの設計開発
- AIによる検知システムの開発
- カメラ画像による自動周辺監視システムの先行開発
- 駐車支援システム(自動ブレーキ、アクセル制御等)の開発
- レーンキープアシスト(ステアリング補助等)の開発



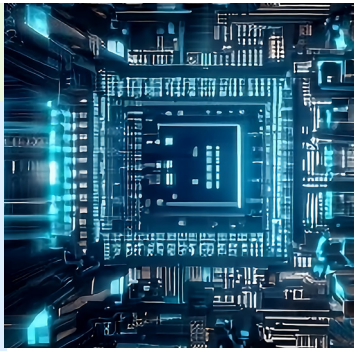
電動パワートレイン

- HV／EV向けパワーユニットの機能開発
- モーター・インバーターの解析
- トランスミッションの車載実験評価
- 駆動用モーターの開発



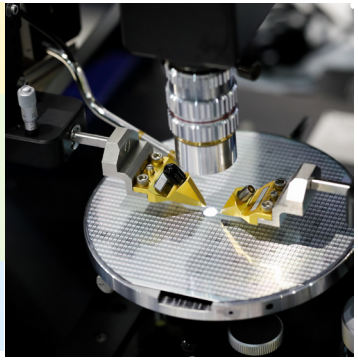
BMS（バッテリーマネジメントシステム）

- 車載電池の安全性評価
- 次世代HVのバッテリー関連の研究開発
- 蓄電デバイス分析・評価
- バッテリーシステム配電部品設計



半導体

- 半導体露光装置のソフトウェア開発、制御ユニットの開発
- 半導体露光装置の回路設計、画像処理システムの開発
- 液晶露光装置の計測・解析・制御・評価
- 半導体露光装置の温調機の開発(筐体の構想、基本設計)



https://www.artner.co.jp/

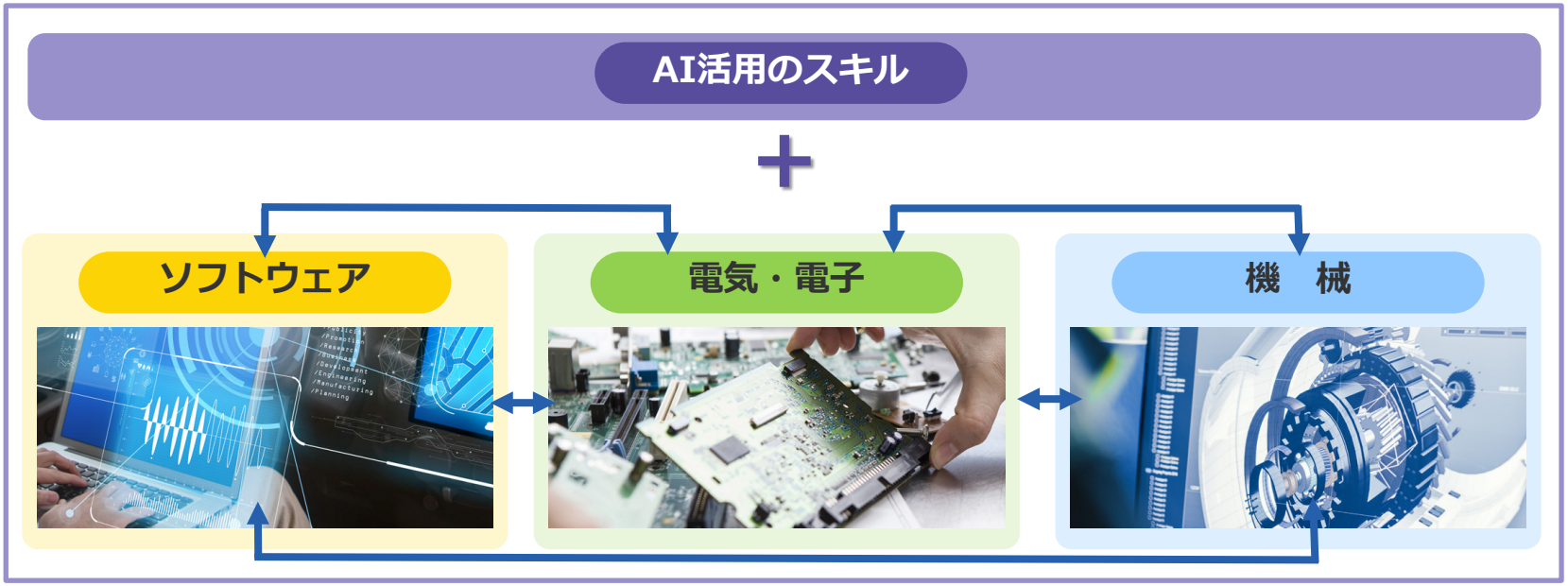
Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

AIに対するアルトナーの考え方

AIの進化加速は想定されるが、基本的な技術領域として
「ソフトウェア」「電気・電子」「機械」は変わらないと想定

今後も、この3つの技術領域を**バックグラウンドに持つエンジニアを採用**

その土台の上に、AI活用のスキルを加えることで、
高付加価値を生み出すエンジニアに育成



Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

社是／経営理念／社名の由来／ロゴマーク

■ 社是

精神の追求　**智識の追求**　**創造の追求**

■ 経営理念

「 エンジニアサポートカンパニー 」

－ 私達は技術者の夢をサポートします －

人をつくり　技術を育み　技術者を通じ社会に貢献し
全従業員の幸福と会社の反映を目指します

■ 社名の由来

ART
より優れたクオリティを追求する「Art」

＋

ARTNER

＋

PARTNER
顧客の信頼に応える「Partner」

■ ロゴマーク

みずみずしいクリアな発想を感じさせる水の”しずく”のきらめきをモチーフ。
“しずく”は、エンジニアを表す。優れた人財が集合し「A(アルトナー)」
をカタチ作る。”しずく”のコーナーを開いて、オープン・マインドを表現。

Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

日本が世界に誇る財産である
エンジニアの成長、自己実現をサポートする。

資源が乏しい日本において、エンジニアは世界に誇る財産です。
アルトナーは、エンジニアの成長、自己実現を
サポートするプラットフォームです。
アルトナーは、エンジニアをアルトナーの財産としてだけではなく、
日本の共有財産と捉えて、育んでいきます。

人財の流動化やダイバーシティなど、労働を取り巻く環境、
働く意識が急速に変化する中、アルトナーは、エンジニアの働く幸福を追求し、
“エンジニアの生き方”の新しいモデルを創ります。

Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

インベストメントハイライト

1	’27年1月期 第2四半期(中間期) 連結決算概要	P 13
2	12期にわたる増収・営業増益の要因	P 20
3	中期経営計画(’26年1月期～’30年1月期)	P 25
4	’27年1月期 業績予想／配当予想	P 30
5	参考資料	P 37

Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

(連結)’27年1月期 第2四半期(中間期) 決算概要 総括

市場環境

- 中東情勢を始め世界経済の不透明感が続いているものの、景気は緩やかに回復しており、顧客企業の研究開発は堅調に推移。
- 当社グループは研究開発・設計開発領域への技術者の配属比率が高いため、引き続き、自動車関連メーカー並びに半導体製造装置メーカーからの技術者要請が旺盛。

技術者派遣事業

- 稼働人員が増加。
  - ・重点的な費用投下に伴うキャリア採用数の伸長等により、技術者数が増加。稼働率が高水準で推移。
- 技術者単価が前期から継続的に上昇。
  - ・企業の賃上げ傾向、技術者不足。
  - ・成長分野・高付加価値分野への戦略的配属。

請負・受託事業

- 売上高が増加。
  - ・受注プロジェクトへの配属者数が増加。

利益の状況

- 採用関連投資、IT・DX投資、研修設備投資等が発生したものの、売上高の伸長によりこれらの費用が吸収され増益。

Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

(連結)’27年1月期 第2四半期(中間期) 業績ハイライト

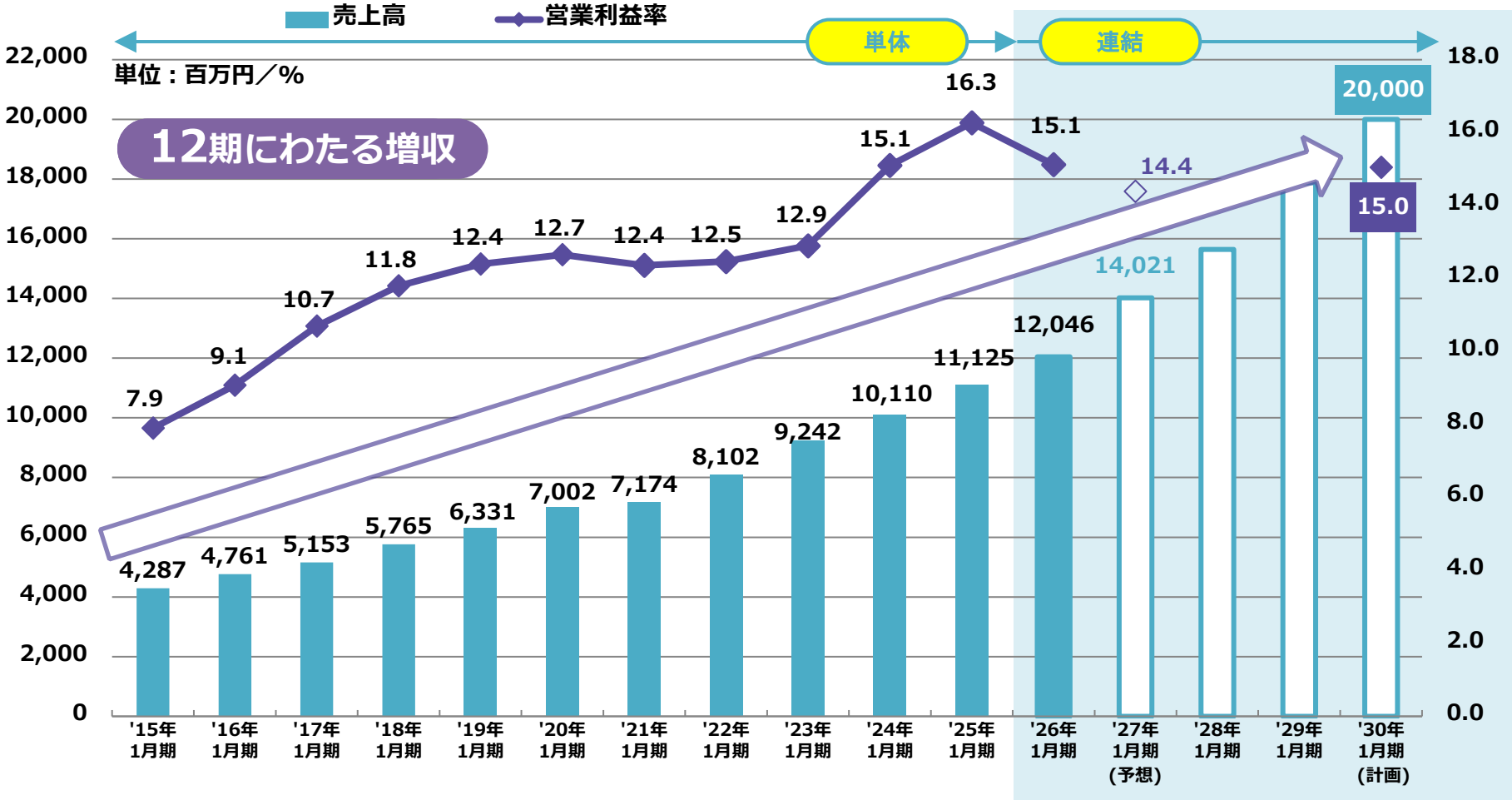
※当社グループは、前第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、
前年同中間連結会計期間との比較分析は行っておりません。

	(連結)’27年1月期 第2四半期	
	実　績 (百万円)	百分比 (%)
売上高	7,075	100.0
売上原価	4,261	60.2
売上総利益	2,813	39.8
販管費	1,596	22.6
営業利益	1,217	17.2
経常利益	1,222	17.3
親会社株主に帰属する 中間純利益	815	11.5

Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

(連結)経営数値目標(’30年1月期) 売上高／営業利益率

売上高	200億円	営業利益率	15.0%

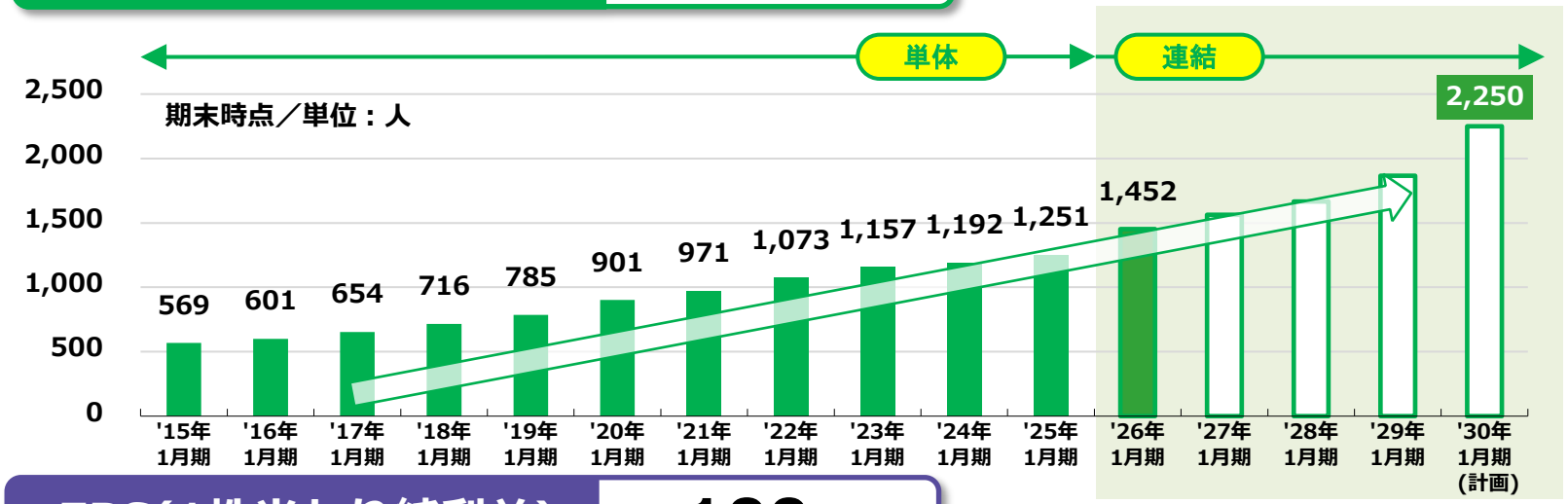


https://www.artner.co.jp/

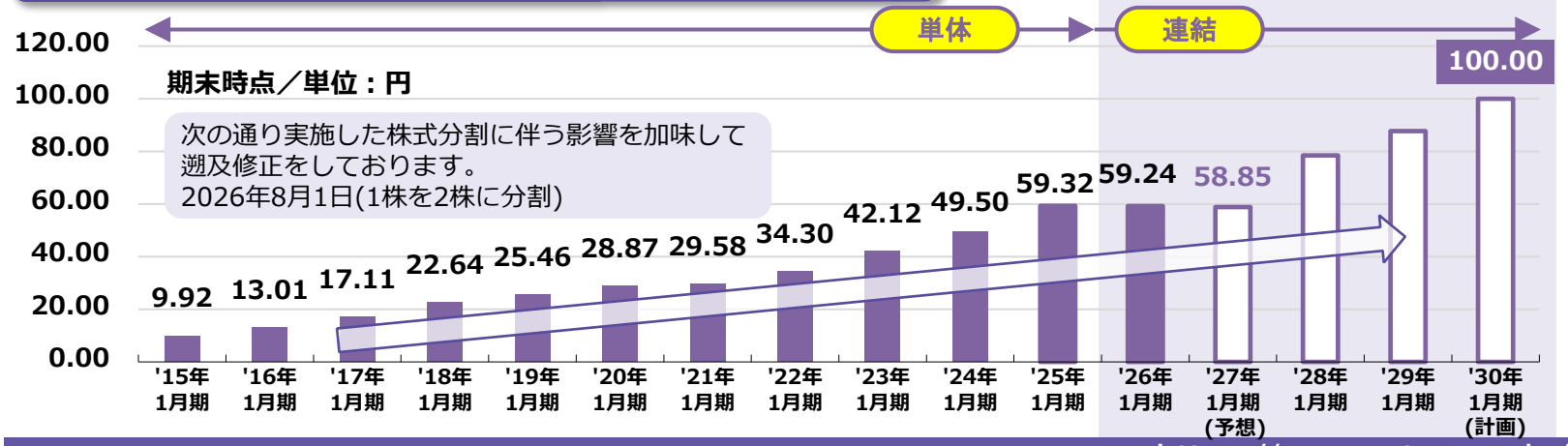
Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

(連結)経営数値目標('30年1月期) 技術者数／EPS

技術者数 2,250人



EPS(1株当たり純利益) 100円



https://www.artner.co.jp/

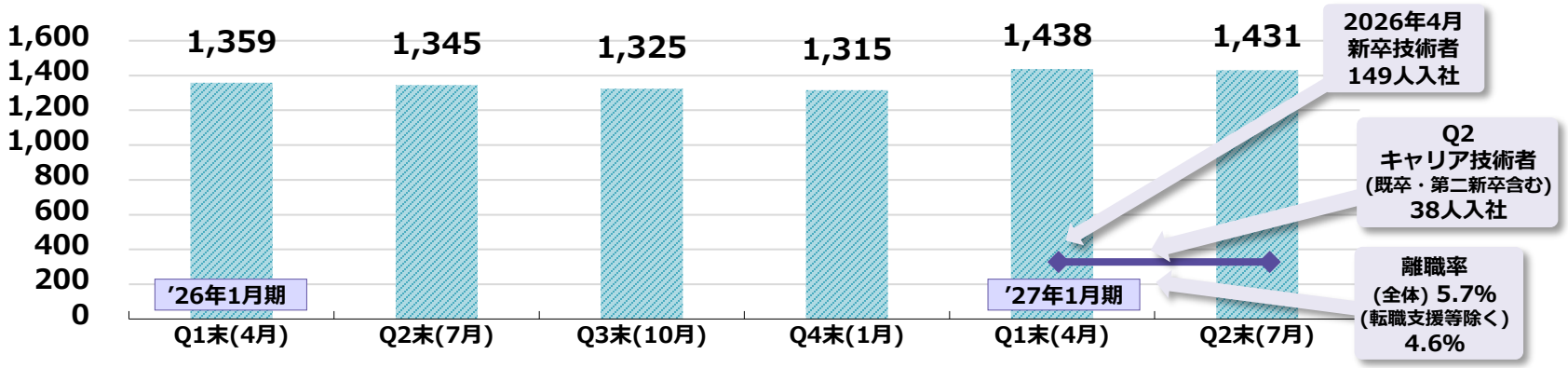
Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

(単体)’27年1月期 第2四半期(中間期) 期末技術者数／稼働率

期末技術者数

’26年1月期(平均)第2四半期	’27年1月期(平均)第2四半期	前年増減値(人)	前年増減率(%)
1,312	1,392	80	6.1

単位：人

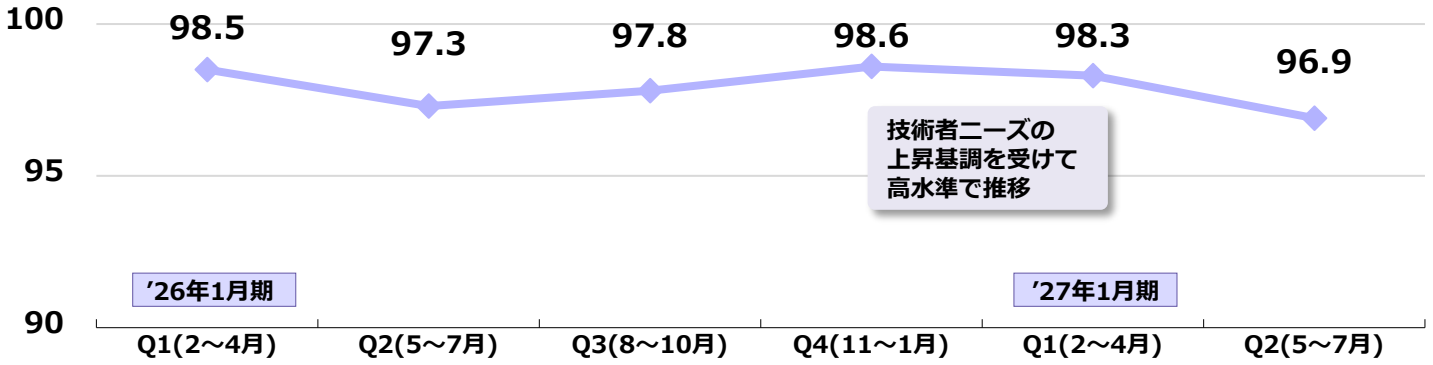


稼働率

※技術者派遣の数値

’26年1月期(平均)第2四半期	’27年1月期(平均)第2四半期	前年増減値(pt)
97.9	97.6	▲ 0.3

単位：%



※ 新入社員等の期中入社者は、配属までは含んでおりません。

Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

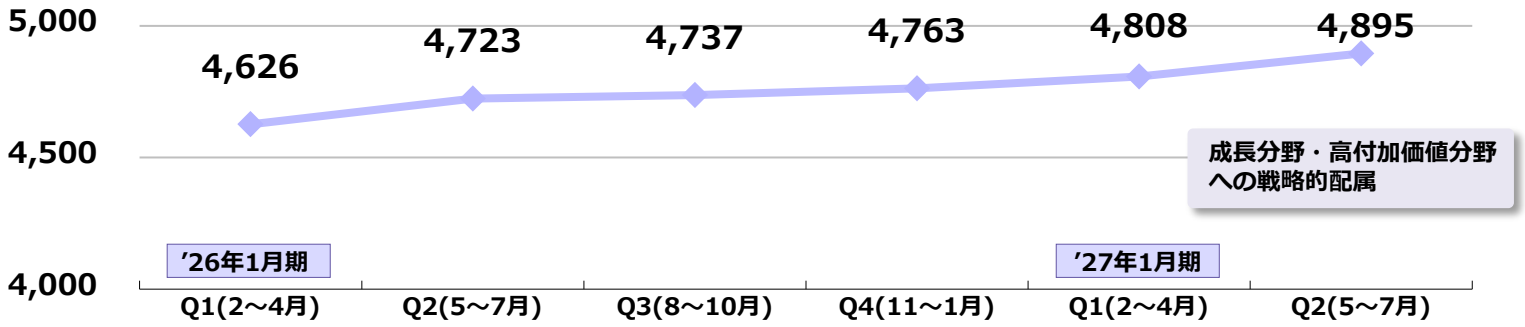
(単体)’27年1月期 第2四半期(中間期) 技術者単価／労働工数

技術者単価

※技術者派遣の数値　※1人当たり

単位：円／時間

’26年1月期(平均)第2四半期	’27年1月期(平均)第2四半期	前年増減値(円)	前年増減率(%)
4,676	4,852	176	3.8

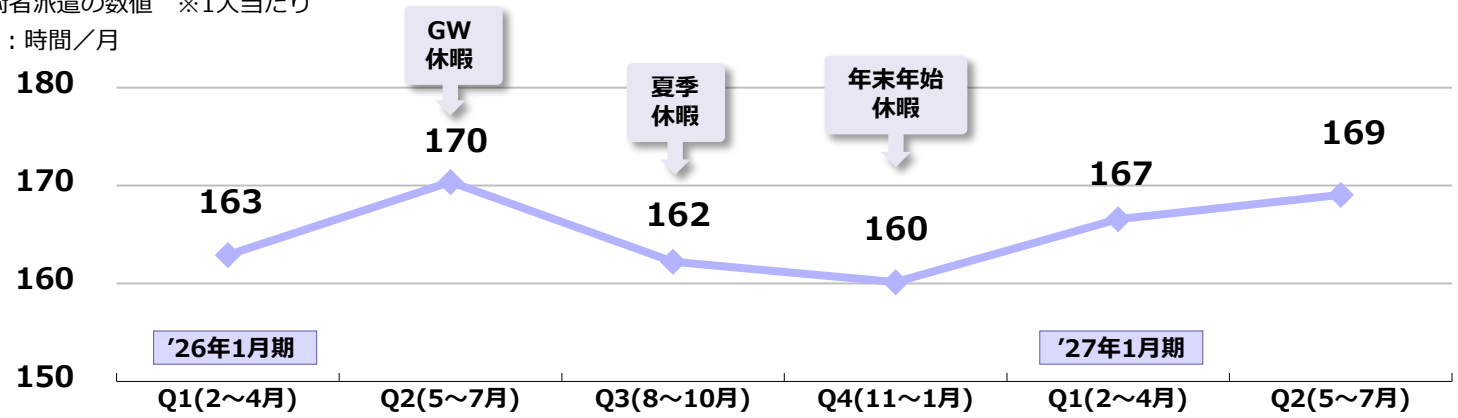


労働工数

※技術者派遣の数値　※1人当たり

単位：時間／月

’26年1月期(平均)第2四半期	’27年1月期(平均)第2四半期	前年増減値(ｈ)	前年増減率(%)
167	168	1	0.7



Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

インベストメントハイライト

1	’27年1月期 第2四半期(中間期) 連結決算概要	P 13
2	12期にわたる増収・営業増益の要因	P 20
3	中期経営計画(’26年1月期～’30年1月期)	P 25
4	’27年1月期 業績予想／配当予想	P 30
5	参考資料	P 37

Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

技術者派遣の市場規模／顧客企業の研究開発費

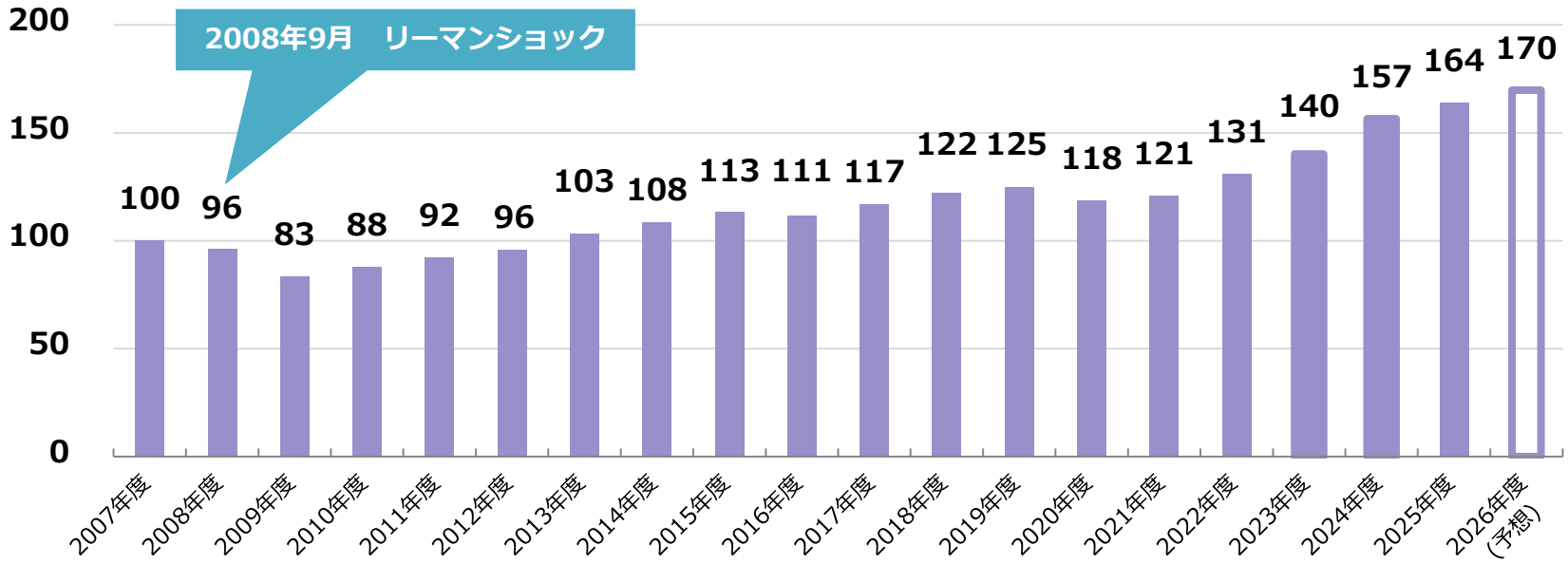
■ 技術者派遣の市場規模

1兆3,000億円～1兆6,000億円(推計)

「労働者派遣事業報告書の集計結果」(厚生労働省)より当社グループ算出

※労働者派遣事業「年間売上高」の内、「無期雇用派遣労働者」かつ「製造技術者」「情報処理・通信技術者」「その他の技術者」の売上高の概算
※当社グループの直近'26年1月期 売上高120億円で計算すると、シェアは0.7～0.9%。

■ 顧客企業の研究開発費　企業は研究開発に継続的に予算を投じるため、安定的に推移。



※3月決算の上場している顧客企業の開示資料に記載の研究開発費を単純集計し、2007年度の指数値を100として算出。

Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

長い歴史による顧客企業からの信頼感

60年以上の長い歴史の中で、
多くの顧客企業と信頼を築き、実績を積み重ねた。

未経験の新卒技術者の配属、
また、**既存の技術者の追加配属**が可能。

Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

上流工程への技術者の配属を推進するビジネスモデル

リーマンショック時にも、メーカーの業務工程の上流工程
(研究開発領域)に配属されていた技術者はあまり契約解除にならず。

▼

上流工程への技術者の配属比率を高めていく方針を決定。

▼

上流工程に配属可能な優秀な学生を採用するため、
技術者のニーズを踏まえた社内制度
(転職支援制度、成果報酬型の給与体系、エリア限定制度等)を導入。

▼

顧客企業の上流工程の業務に合わせた教育･研修を実施し配属。

▼

技術者単価が上昇し、その結果、利益率が上昇。

Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

マーケットニーズの高い技術分野への技術者の配属

SDV
(ソフトウェア定義型車両)

AI自動運転／ADAS

BMS
(バッテリーマネジメントシステム)

全固体電池／燃料電池

電動パワートレイン

半導体

等の開発プロジェクトに配属

稼働率が高水準で推移。

Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

インベストメントハイライト

1	’27年1月期 第2四半期(中間期) 連結決算概要	P 13
2	12期にわたる増収・営業増益の要因	P 20
3	**中期経営計画(’26年1月期～’30年1月期)**	**P 25**
4	’27年1月期 業績予想／配当予想	P 30
5	参考資料	P 37

Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

基本方針

『 持続的成長および次世代成長のための基盤を構築する 』
『 Make Value for 2025 to 2029 』

- 業界No.1高付加価値の技術者集団の組織化
- 総合技術サービス会社への進化

新卒・キャリア採用を実施し、アルトナー社員ベースで
年平均成長率(CAGR) 約**10%**の増員

Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

中期経営計画(’26年1月期～’30年1月期)

基本施策

1 セグメント戦略の推進

- 「カーボンニュートラル」対応を中核に据えたハイエンド領域の人員ウェイト拡大
- 請負・受託プロジェクトのOJT活用による配属業務レベル引き上げ

技術者派遣のハイエンド領域 (※) **36% ⇒ 50%**

※ハイエンド領域…ハイバリューグループ＋ワイドバリューグループの一部の業務レベル
(次期製品の先行開発、基幹技術開発、新機能の開発、仕様書の作成、要求分析、機能設計等)
⇒ ’26年１月期実績：42.9%

2 多種多様な人財活用の推進

- 事業環境の変化に対応するための戦略的な請負・受託シフト
- シニア・女性・外国人労働者(留学生)の人財活用
- 協力会社の活用・組織化

請負・受託の人員比率 **30%**

3 新たな事業・収益機会の模索

- M&A、アライアンスによる総合技術サービス会社への進化

Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

業務提携／グループ会社

業務提携

社名	開始日	本社	事業内容	従業員数	目的
㈱富士テクノHD	2025年 6月20日	神奈川県 厚木市	情報処理請負事業や技術者派遣事業等を営むグループ会社の経営管理及びこれに付帯する業務	444人 (連結会社、2025年9月末現在)	構造的な人財不足の影響を抑制するとともに、効率的かつ高付加価値な人財サービスを提供
ジャパニアス㈱	2026年 1月23日	神奈川県 横浜市	先端エンジニアリング事業(オンサイト型開発支援・受託開発)	1,922人 (2025年11月末現在)	機電系・組込みソフトウエア分野に強みを持つ当社とIT分野に強みを持つジャパニアスが事業提携を行い、両社の強みを相互に補完・活用

グループ会社

社名	株式譲渡日	本社	事業内容	従業員数	主な顧客企業(敬称略)	目的
㈲クリップソフト CLIPSOFT	2025年 9月26日	静岡県 浜松市	車載メーターなどの組込みソフトウェアの開発及び人材派遣事業	33人 (2026年1月現在)	・デイシス ・矢崎部品 ・ヤマハ	IT業界(システム受託開発、組込みソフトを含む)での当社グループのサービスの拡大を図る
㈱情報技研 そだつ、ヨロコビ。情報技研 JOUHOU GIKEN CO.,LTD.	2025年 12月26日	栃木県 宇都宮市	輸送用機器設計、研究・開発サポート事業	116人 (2026年1月現在)	・本田技研工業 ・SUBARU ・富士エアロスペーステクノロジー	自動車産業・航空宇宙産業での当社グループのサービス拡大を図る

Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

クリップソフト／情報技研のグループ会社化の狙い

当社は、自社のストロングポイント、ウィークポイントを相互に補完・補強できるパートナーとして、クリップソフト、情報技研をグループ会社化。

		CLIPSOFT	情報技研 JOUHOU GIKEN CO.,LTD.	
		ストロングポイント	ストロングポイント	ウィークポイント
ARTNER	ストロングポイント	組み込みソフト領域		組み込みソフト領域
	ウィークポイント		機械系ハードウェア領域	

引き続き、M&A・アライアンスについては、積極的に情報収集を行い、検討していく。

Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

インベストメントハイライト

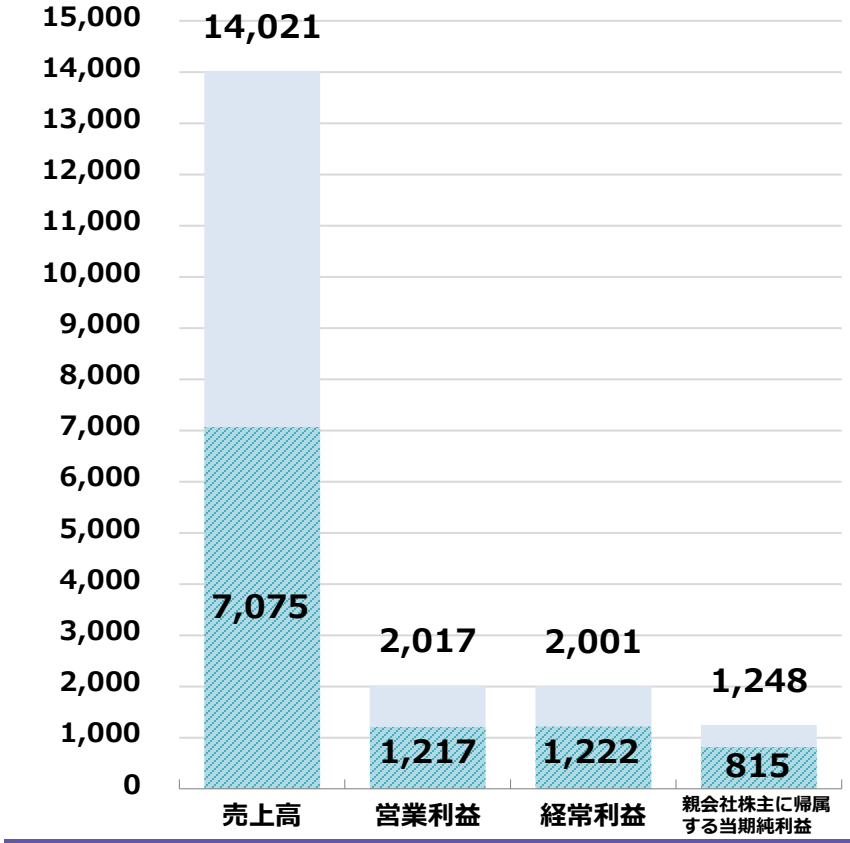
1	’27年1月期 第2四半期(中間期) 連結決算概要	P 13
2	12期にわたる増収・営業増益の要因	P 20
3	中期経営計画(’26年1月期～’30年1月期)	P 25
4	**’27年1月期 業績予想／配当予想**	**P 30**
5	参考資料	P 37

Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

(連結)’27年1月期 第2四半期(中間期) 通期業績予想の進捗

■ (連結)通期業績予想に対して、第2四半期(中間期)実績の進捗率は、
売上高50.5%、営業利益60.3%、経常利益61.1%、
親会社株主に帰属する当期純利益65.3%

単位：百万円



	(連結)’27年1月期 第2四半期		
	実績 (百万円)	百分比 (%)	通期業績予想進捗率 (%)
売上高	7,075	100.0	50.5
営業利益	1,217	17.2	60.3
経常利益	1,222	17.3	61.1
親会社株主に帰属する中間純利益	815	11.5	65.3

	(連結)’27年1月期 通期業績予想	
	通期 (百万円)	百分比 (%)
売上高	14,021	100.0
営業利益	2,017	14.4
経常利益	2,001	14.3
親会社株主に帰属する当期純利益	1,248	8.9

Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

キャッシュアロケーション(’26年1月期～’30年1月期)

持続的な成長に向けて、当社は安定したキャッシュ・フローの確保と効率的な資本配分に努めております。



※ ‘26年１月期実施分を含む。

- M&A・アライアンス
- 設備投資(研修拠点拡大等)
- 人的資本投資(教育・健康経営)
- 事業推進強化(採用、IT・DX投資)

- 配当性向50%をベースとし、毎年、前年割れのない配当金額の決定。

※キャッシュアロケーションでは、CF計算書のような資金増減の記録とは異なり、創出したキャッシュインを成長投資や株主還元へいかに再配分するかという経営の方針を示しております。

※キャッシュアウト上のM＆Aの成長投資は、連結CF計算書上の「子会社の取得による支出」(取得のために支払った現金及び現金同等物の額から、取得した子会社が取得時に保有していた現金及び現金同等物の額を差し引いた純額)とは異なり、取得対価の総額となります。

Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

’27年1月期 配当予想

配当性向 **50%をベース** ’27年1月期(予想)**73.1%**

- 2026年8月1日を効力発生日として、株式分割(1:2)を実施。
- 今期の中間配当は配当予想通り43円。期末配当は21.5円(株式分割前換算43円)を予定。（株式分割前換算では86円となり、実質2円増配）

	年間配当金(円)			配当利回り(%)	配当性向(%)	純資産配当率(DOE)(%)
	中間	期末	計			
’26年1月期	42.00	42.00	84.00	4.06	70.9	17.1
’27年1月期(予想) (株式分割前換算)	43.00	21.50 (43.00)	— (86.00)	4.52	73.1	

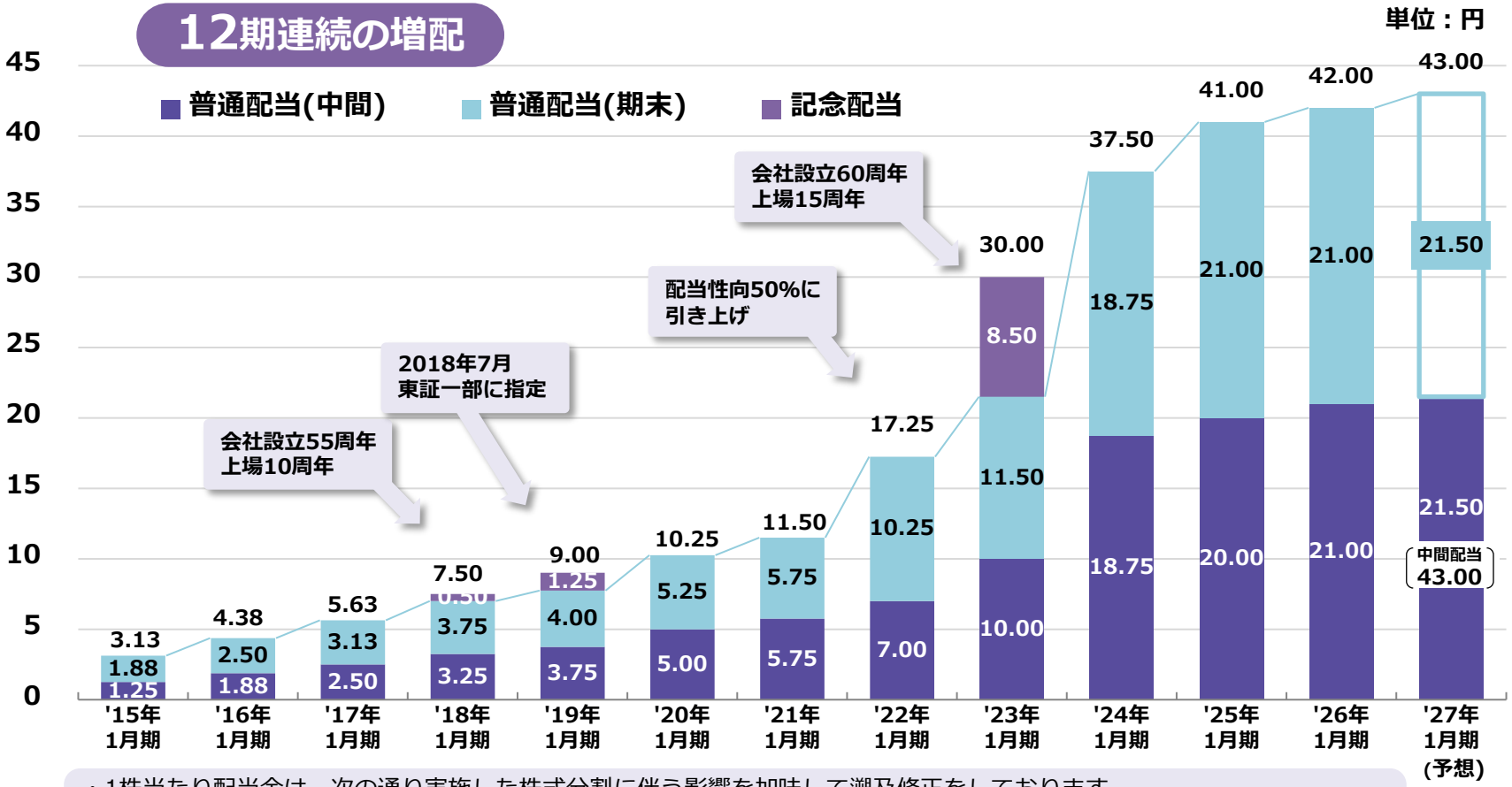
※’27年1月期(予想)の期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、
年間配当金合計については、株式分割の実施により単純合計ができないため記載しておりません。

※配当利回り(%)＝1株当たり配当金(株式分割後換算／合計)÷株価(株式分割後換算／期末／終値)×100
’26年1月期 期末(2026年1月30日)終値 1,035円／ ’27年1月期 第2四半期(中間期) 期末(2026年7月31日)終値 951円

Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

1株当たり年間配当金

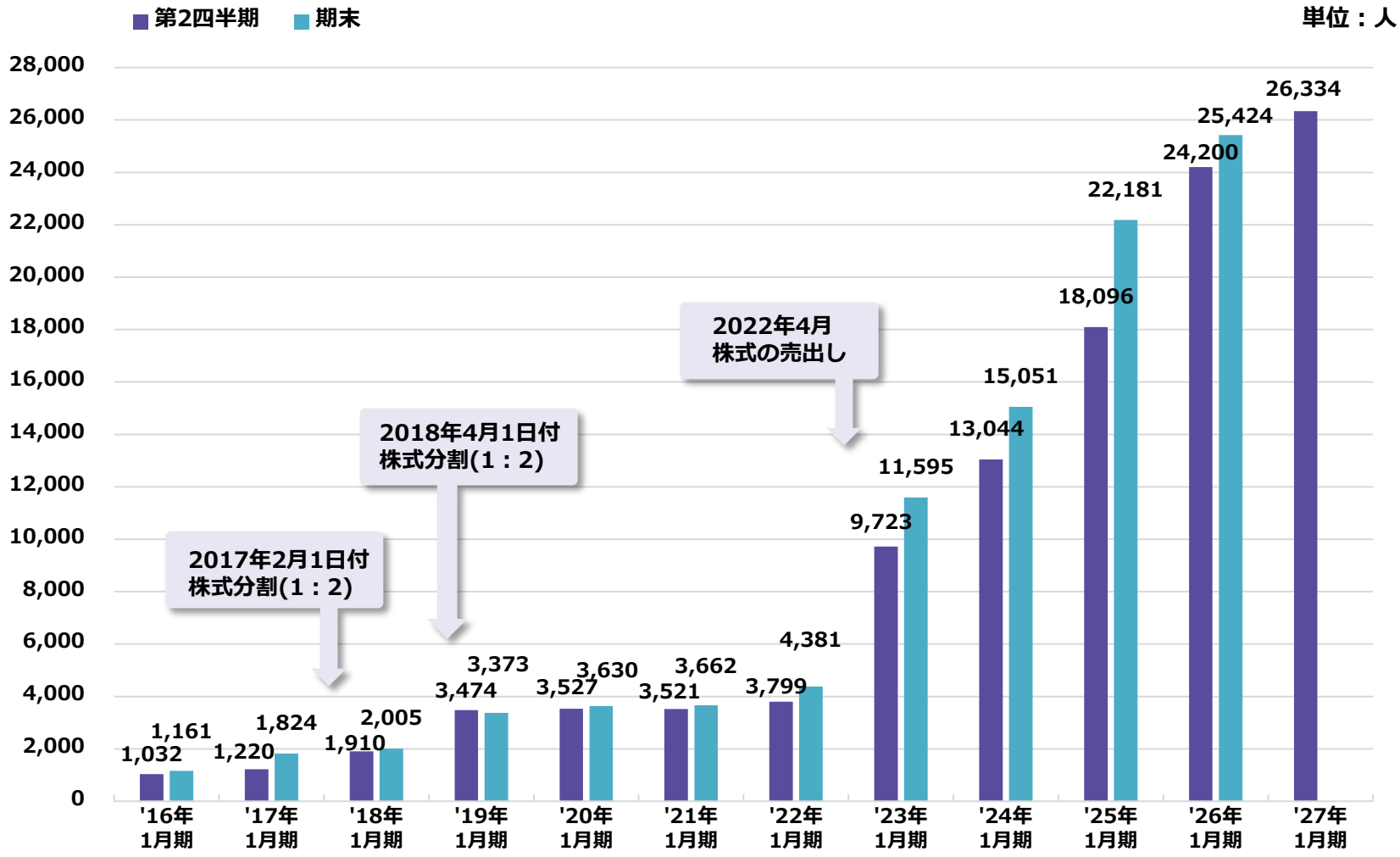
■ 配当性向50%をベースとし、
毎年、前年割れのない配当金額の決定をしていきたいと考えております。



・1株当たり配当金は、次の通り実施した株式分割に伴う影響を加味して遡及修正をしております。
2017年2月1日(1株を2株に分割)／2018年4月1日(1株を2株に分割)／2026年8月1日(1株を2株に分割)
・'27年1月期の中間配当は、株式分割前の株式数を基準に1株当たり43円(株式分割後換算21円50銭)となりました。

Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

期末株主数



Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

株価推移(2014年2月～2026年10月)／株価施策



目標株価
('30年1月期)

1,800円 = 100.00円(EPS) × 18.0倍(PER)
※(連結)経営数値目標('30年1月期)　※業界平均 約17.0倍

株価施策

積極的なIR活動によるPERの上昇

株主還元の拡大
配当性向50%をベース
自社株買い(2026年3月)
株式分割(2026年8月)

EPSの拡大
「カーボンニュートラル」対応を中核に据えたハイエンド領域の人員ウェイト拡大

M&Aの推進
新たな専門技術領域(AI/化学/土木建築等)、
中核事業であるソフトウェア/電気・電子/機械領域の強化

https://www.artner.co.jp/

Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

インベストメントハイライト

1	’27年1月期 第2四半期(中間期) 連結決算概要	P 13
2	12期にわたる増収・営業増益の要因	P 20
3	中期経営計画(’26年1月期～’30年1月期)	P 25
4	’27年1月期 業績予想／配当予想	P 30
5	参考資料	P 37

Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

(単体)’27年1月期 第2四半期(中間期) 業績ハイライト

■ 売上高9.0%増、営業利益10.5%増、
経常利益9.7%増、中間純利益9.0%増。営業利益率19.0%

	(単体)’26年1月期 第2四半期		(単体)’27年1月期 第2四半期		前　年 増減値	前　年 増減率
	実　績 (百万円)	百分比 (%)	実　績 (百万円)	百分比 (%)	(百万円)	(%)
売上高	5,876	100.0	6,404	100.0	528	9.0
売上原価	3,515	59.8	3,774	58.9	259	7.4
売上総利益	2,360	40.2	2,629	41.1	269	11.4
販管費	1,260	21.5	1,414	22.1	154	12.2
営業利益	1,099	18.7	1,215	19.0	116	10.5
経常利益	1,101	18.7	1,207	18.9	106	9.7
中間純利益	770	13.1	839	13.1	69	9.0

■技術者数が増加
■稼働率が高水準で推移
↓
■稼働人員が増加
■技術者単価が上昇

■技術者単価の上昇により売上総利益率が上昇

■採用関連投資、IT・DX投資、研修設備投資の増加

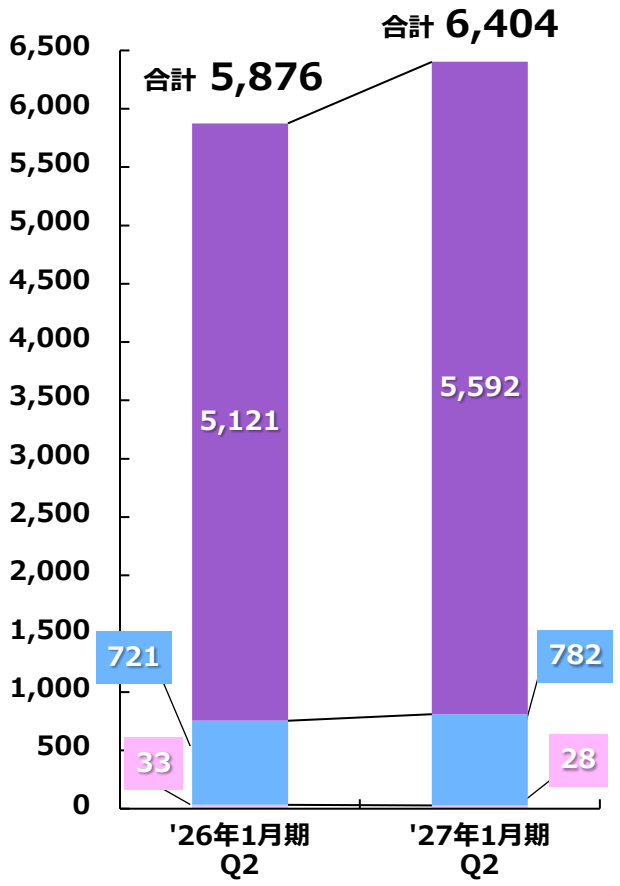
※(単体)…株式会社アルトナーに限る数値

Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

(単体)’27年1月期 第2四半期(中間期) 事業別 売上高

■技術者派遣9.2%増 ■請負・受託8.5%増

単位：百万円



	’26年1月期 第2四半期		’27年1月期 第2四半期		前年増減率	構成比差異
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	(%)	(pt)
技術者派遣	5,121	87.2	5,592	87.3	9.2	0.2
請負・受託	721	12.3	782	12.2	8.5	▲ 0.1
小計	5,843	99.4	6,375	99.6	9.1	0.1
その他	33	0.6	28	0.4	▲ 13.9	▲ 0.1
合計	5,876	100.0	6,404	100.0	9.0	—

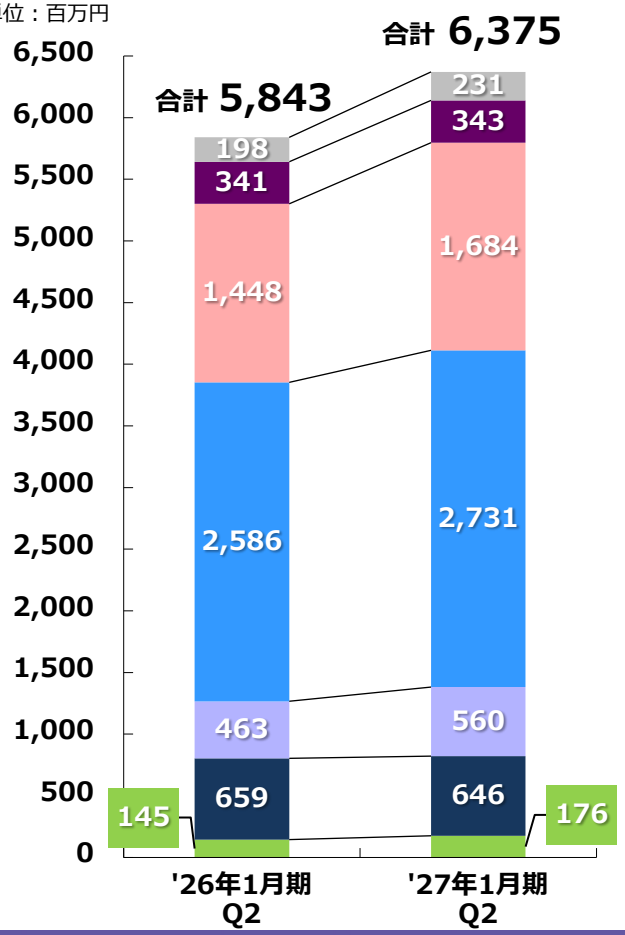
Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

(単体)’27年1月期 第2四半期(中間期) 業種別 売上高

■電気機器16.3%増 ■輸送用機器5.6%増 ■精密機器21.1%増

※顧客企業からの技術者要請は、当社の供給可能数を上回る。業種バランスを考慮した上で、技術者単価の上昇、業務レベルの向上のため、技術者の戦略的ローテーションを実施。

単位：百万円



	’26年1月期 第2四半期		’27年1月期 第2四半期		前年増減率	構成比差異
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	(%)	(pt)
鉄鋼・非鉄・金属	198	3.4	231	3.6	16.6	0.2
機械機器	341	5.8	343	5.4	0.9	▲ 0.4
電気機器	1,448	24.8	1,684	26.4	16.3	1.6
輸送用機器	2,586	44.3	2,731	42.8	5.6	▲ 1.4
精密機器	463	7.9	560	8.8	21.1	0.9
情報・通信	659	11.3	646	10.1	▲ 2.0	▲ 1.2
諸業種	145	2.5	176	2.8	21.1	0.3
合計	5,843	100.0	6,375	100.0	9.1	—

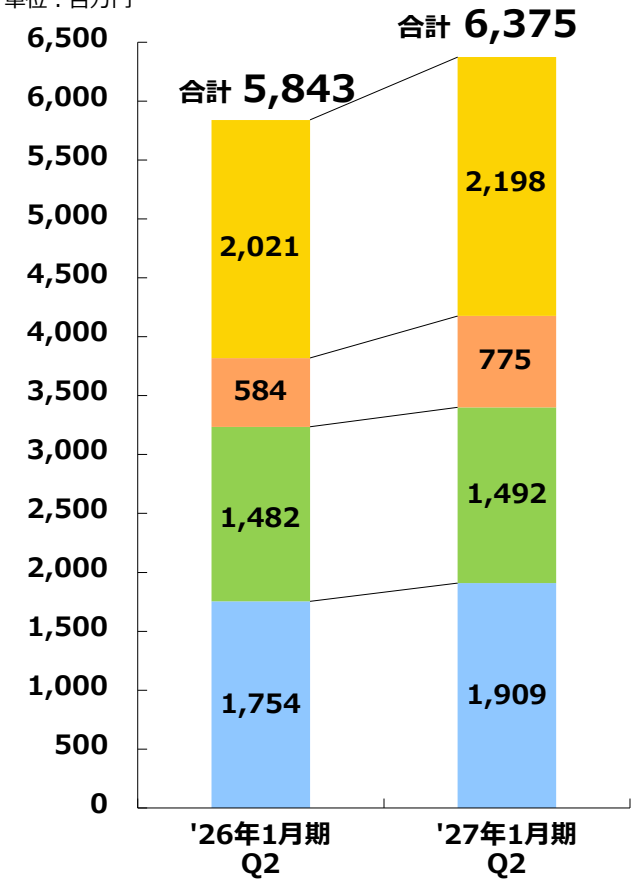
※「その他」売上除く

Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

(単体)’27年1月期 第2四半期(中間期) 技術領域別 売上高

■エンベデッド・モデルベース8.8%増 ■ITソリューション32.6%増
■電気・電子0.7%増 ■機械8.8%増

単位：百万円



	’26年1月期 第2四半期		’27年1月期 第2四半期		前年増減率	構成比差異
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	(%)	(pt)
エンベデッド・モデルベース	2,021	34.6	2,198	34.5	8.8	▲ 0.1
ITソリューション	584	10.0	775	12.2	32.6	2.2
電気・電子	1,482	25.4	1,492	23.4	0.7	▲ 2.0
機械	1,754	30.0	1,909	29.9	8.8	▲ 0.1
合計	5,843	100.0	6,375	100.0	9.1	—

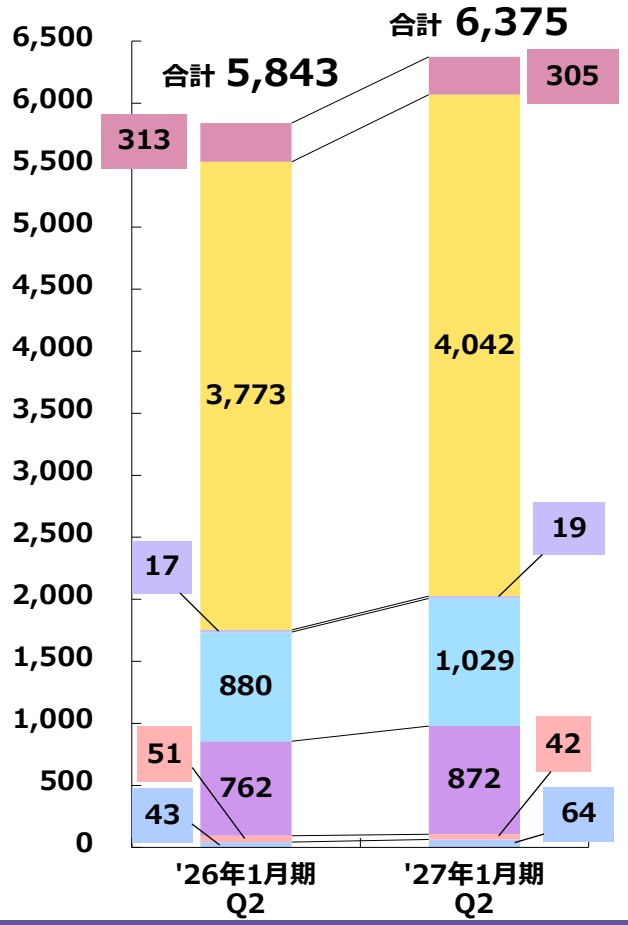
※「その他」売上除く

Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

(単体)’27年1月期 第2四半期(中間期) 地域別 売上高

■関東7.1%増 ■東海16.8%増 ■近畿14.5%増

単位：百万円



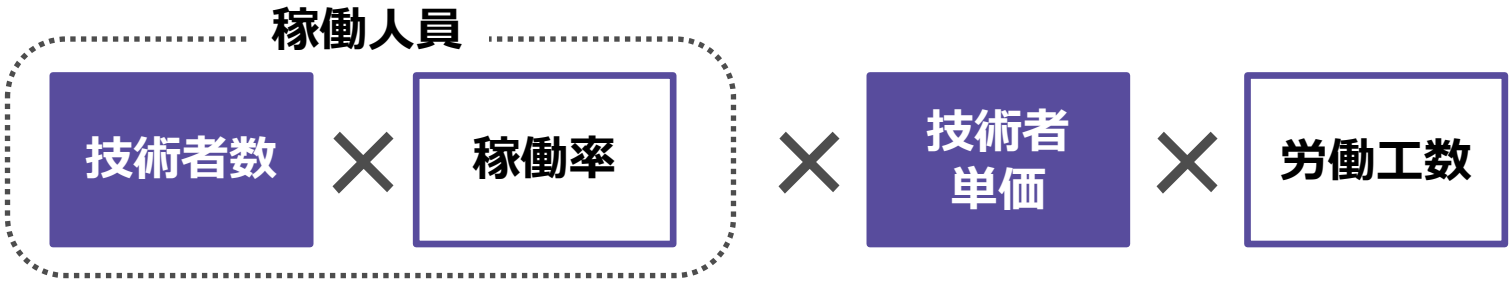
	’26年1月期 第2四半期		’27年1月期 第2四半期		前年増減率	構成比差異
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	(%)	(pt)
東北	313	5.4	305	4.8	▲ 2.6	▲ 0.6
関東	3,773	64.6	4,042	63.4	7.1	▲ 1.2
北陸	17	0.3	19	0.3	7.0	▲ 0.0
東海	880	15.1	1,029	16.1	16.8	1.1
近畿	762	13.0	872	13.7	14.5	0.6
中国	51	0.9	42	0.7	▲ 17.2	▲ 0.2
九州	43	0.7	64	1.0	49.5	0.3
合計	5,843	100.0	6,375	100.0	9.1	—

※「その他」売上除く

Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

売上高、費用、利益率向上の考え方

■ **売上高(技術者派遣)**



■ **売上原価(技術者派遣)**　顧客企業に配属中の技術者の労務費等
(請負・受託)　技術者の労務費、協力会社への外注費等

■ **販売管理費**　社内にて教育研修(待機)中の技術者の労務費、スタッフ職の労務費、求人広告費等

利益率向上の2つのポイント

【売上総利益率の向上】
1人当たりの技術者単価の上昇が必要。

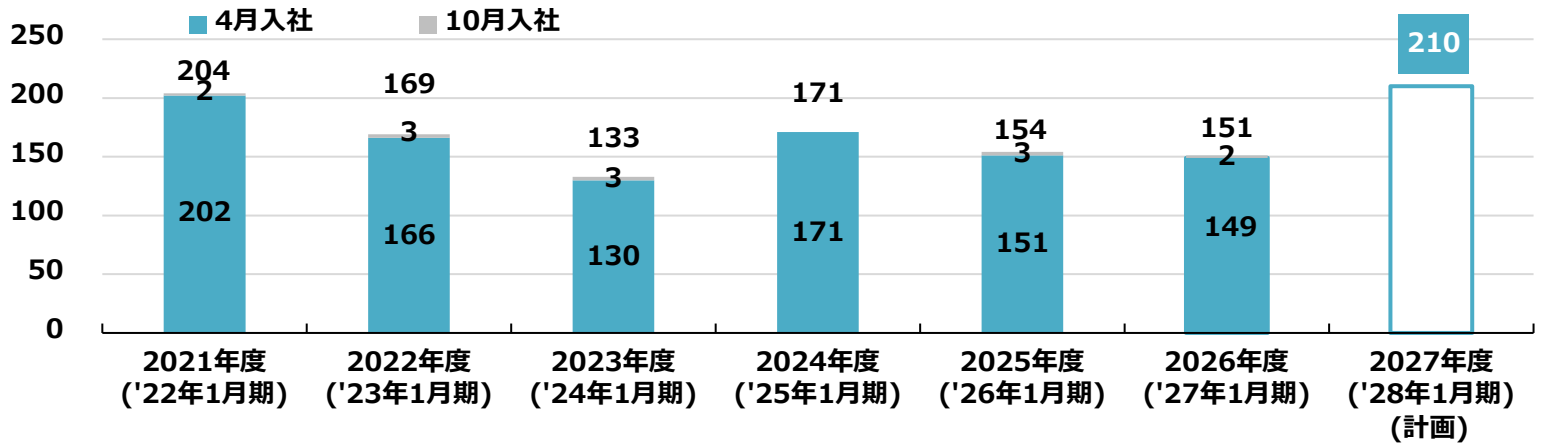
【営業利益率の向上】
技術者の増員に伴う間接部門の増員を管理効率の向上により抑え、販管費率の上昇を抑える。

Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

(単体)新卒・キャリア技術者の採用人数／離職率

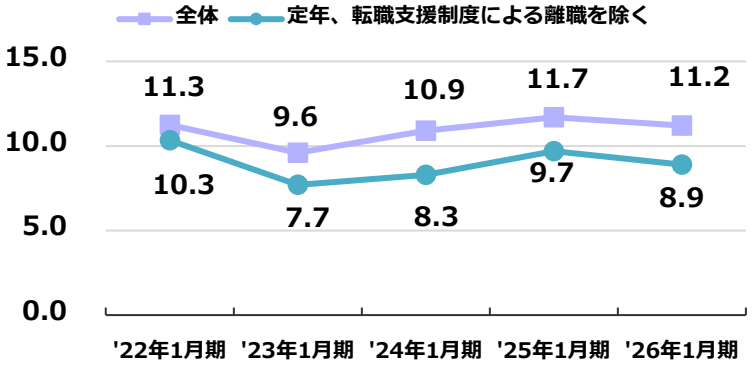
新卒技術者数

単位：人



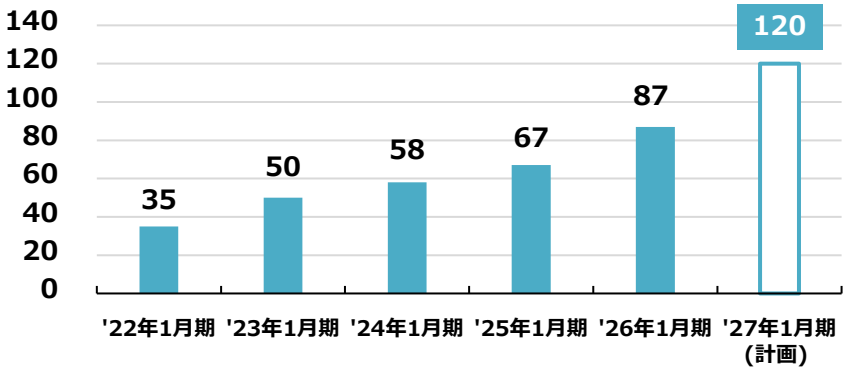
離職率

単位：%



キャリア技術者数(既卒・第二新卒含む)

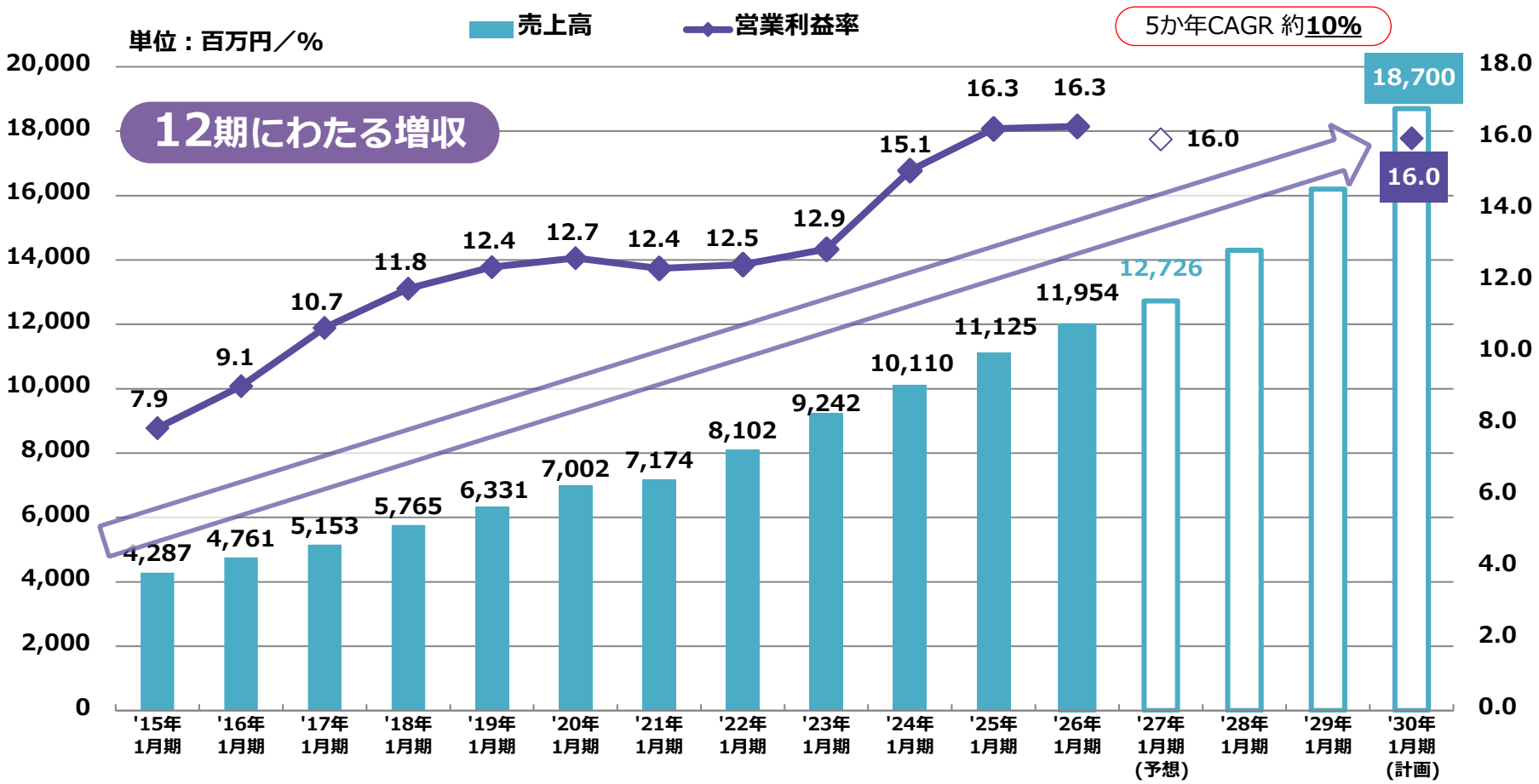
単位：人



Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

(単体)経営数値目標('30年1月期) 売上高／営業利益率

売上高	187億円	営業利益率	16.0%

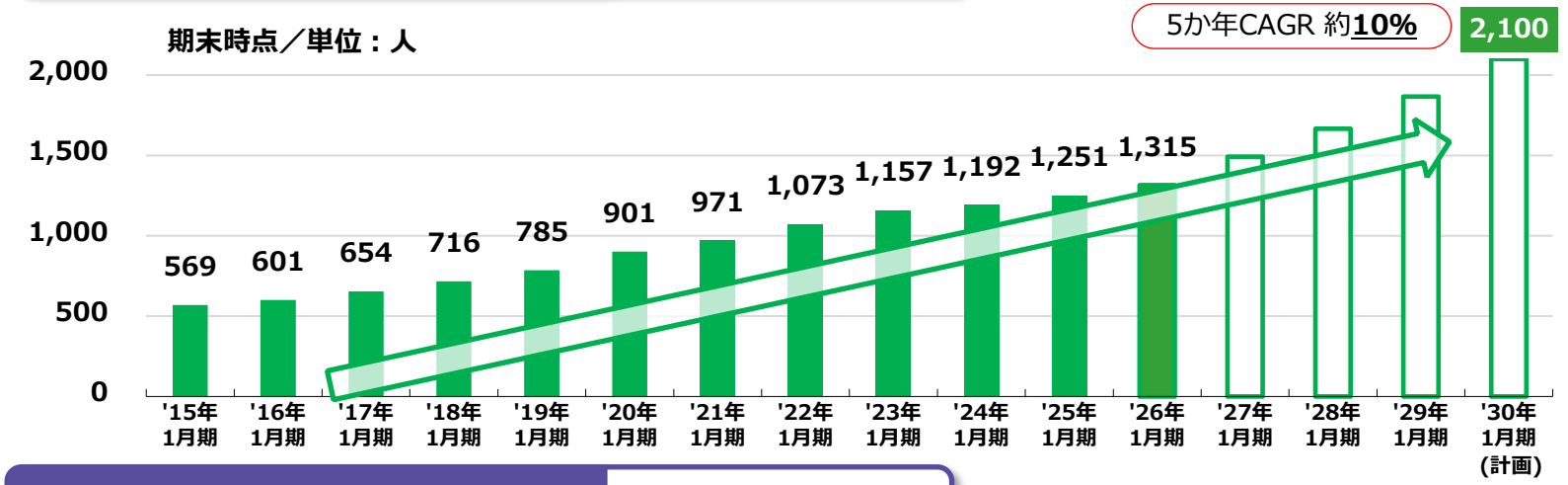


https://www.artner.co.jp/

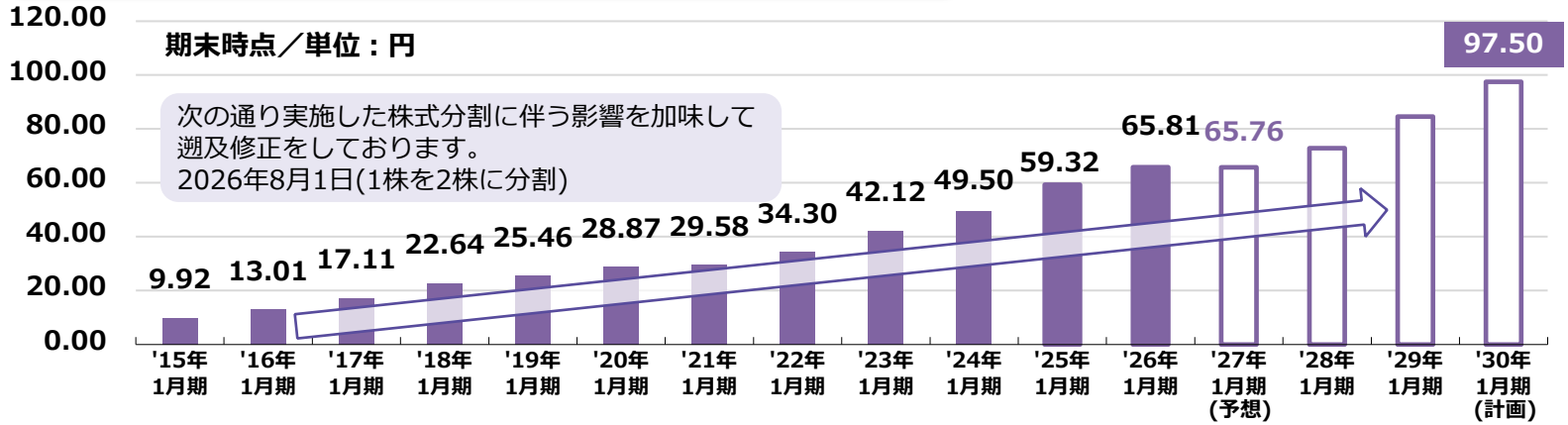
Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

(単体)経営数値目標('30年1月期) 技術者数／EPS

技術者数 **2,100人**



EPS(1株当たり純利益) **97.5円**



https://www.artner.co.jp/

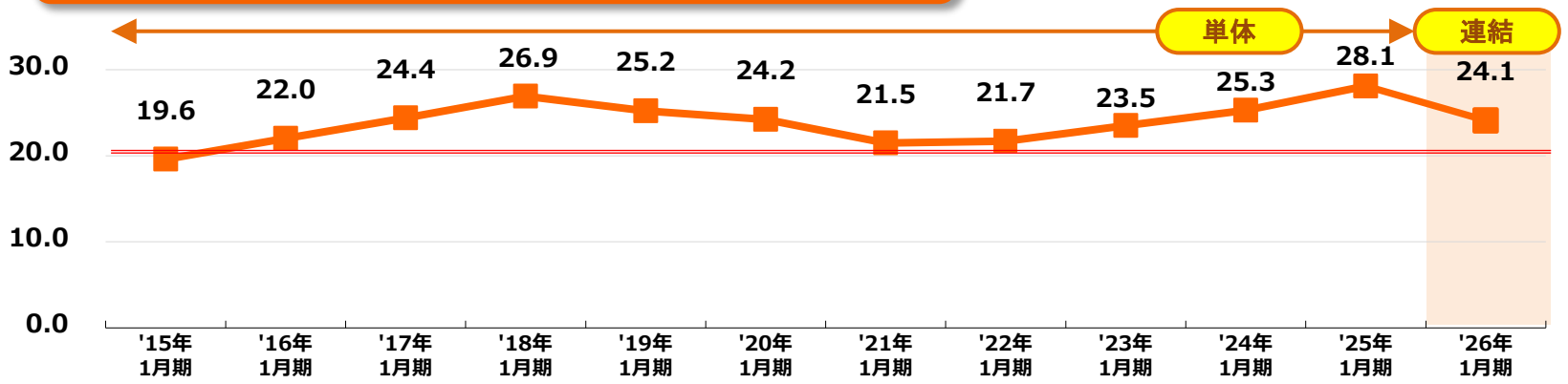
Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

(連結)経営数値目標('30年1月期) ROE／配当性向

単位：%

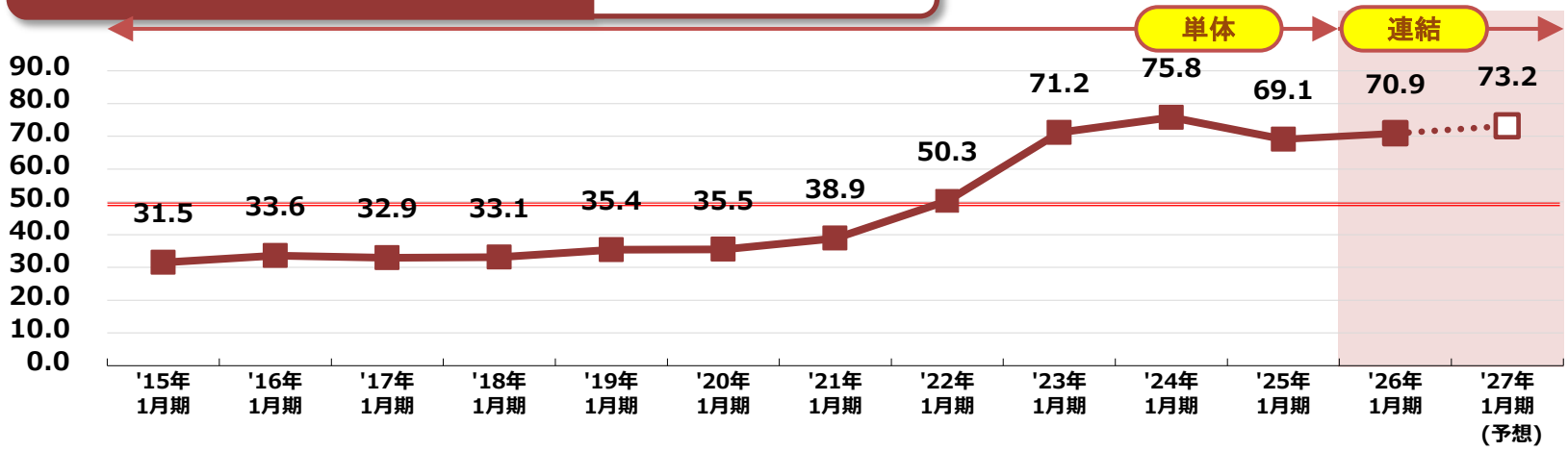
ROE **20%以上**

※'26年1月期のROEは、連結初年度のため、期末自己資本に基づいて計算しております。



配当性向 **50%以上**

単位：%

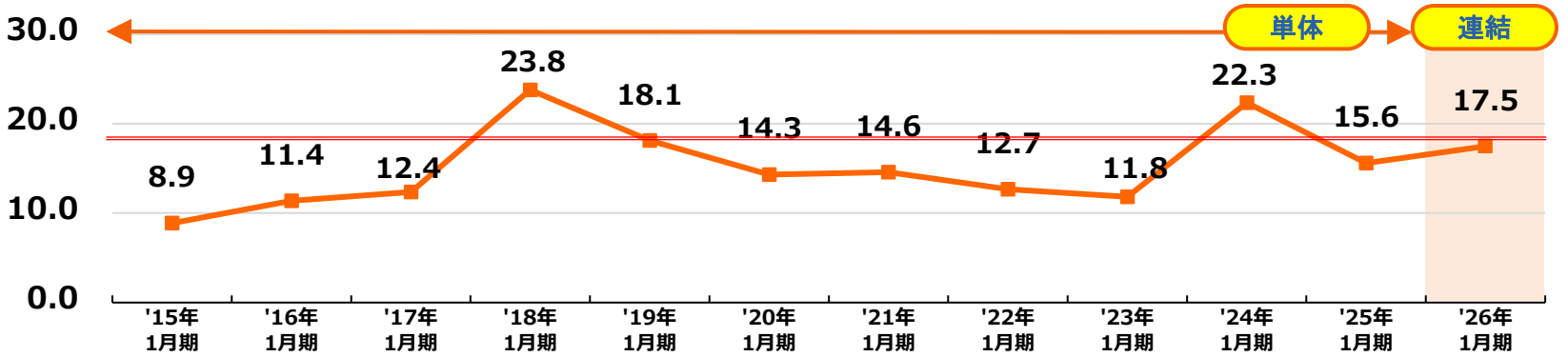


Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

市場からの評価に対する現状認識と目標

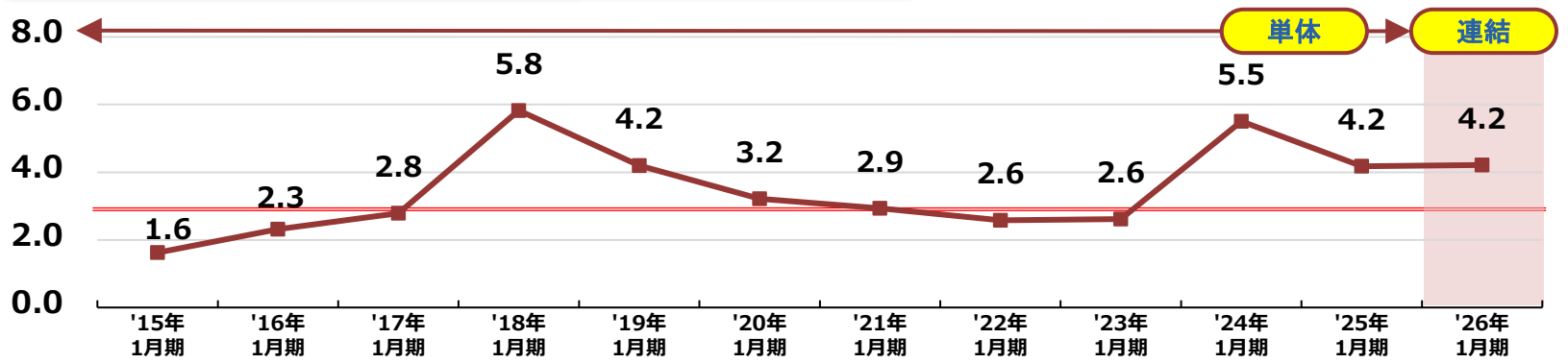
PER **18.0倍以上** (業界平均 約17.0倍【2026年1月】)

単位：%



PBR **3倍以上** (業界平均 約3.0倍【2026年1月】)

単位：%

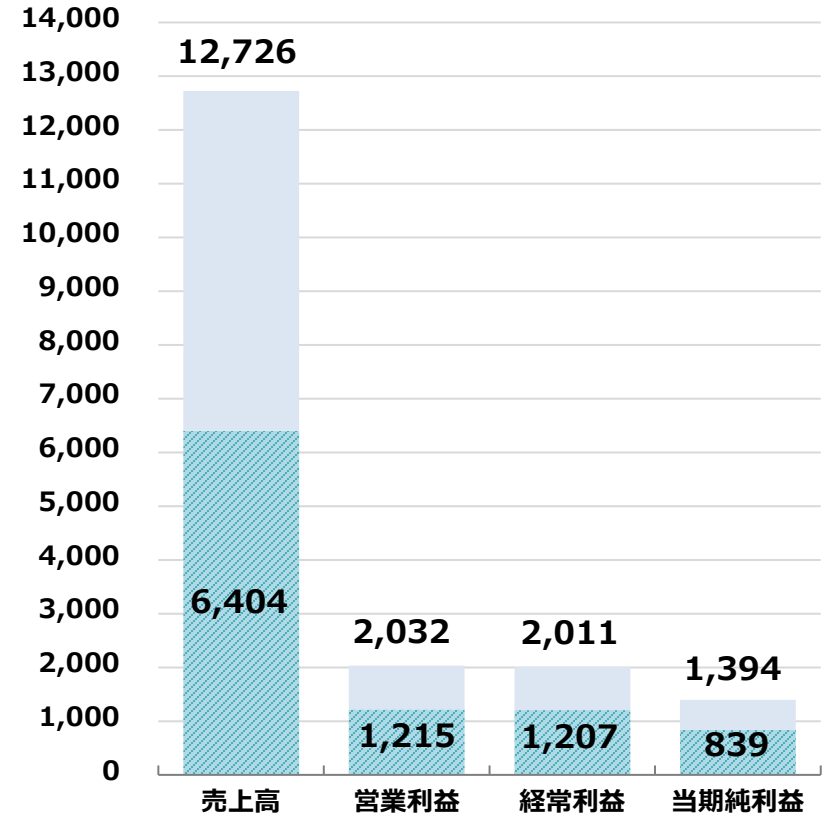


Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

(単体)’27年1月期 第2四半期(中間期) 通期業績予想の進捗

■ (単体)通期業績予想に対して、第2四半期(中間期)実績の進捗率は、
売上高50.3%、営業利益59.8%、経常利益60.1%、当期純利益60.2%

単位：百万円



	(単体)’27年1月期 第2四半期		
	実績 (百万円)	百分比 (%)	通期業績予想進捗率 (%)
売上高	6,404	100.0	50.3
営業利益	1,215	19.0	59.8
経常利益	1,207	18.9	60.1
中間純利益	839	13.1	60.2

	(単体)’27年1月期 通期業績予想	
	通期 (百万円)	百分比 (%)
売上高	12,726	100.0
営業利益	2,032	16.0
経常利益	2,011	15.8
当期純利益	1,394	11.0

Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

本資料のお取り扱い／アルトナーメール配信／お問い合わせ先

本資料のお取り扱い

本資料は、当社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、
当社が発行する有価証券への投資を勧誘する目的としたものではありません。

本資料は、正確性を期すために慎重に作成しておりますが、完全性を保証するものではありません。
本資料中の予測や情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

(将来見通し)
本資料に記載された意見や予測等の情報は、本資料作成時点の当社の判断によるものであり、
潜在的リスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、
実際の業績及び記載されている将来見通しとは乖離が生じる事があります。

(数値の処理)
本文及び図表中の金額は、単位未満を切り捨てているため、内訳の計と合計が一致しない場合があります。
また、構成比(%)は、小数点第二位で四捨五入しているため、内訳の比率の合計が100.0%に
ならない場合があります。

アルトナーメール配信

Eメールアドレスをご登録いただいた方に最新情報を配信(無料)
【登録URL】https://www.artner.co.jp/ir/other/mail

よくあるご質問(お問い合わせいただく前に)

投資家の皆様から多くお問い合わせいただくご質問について、順次更新し、回答を「よくあるご質問」に掲載しております。ぜひご活用ください。
Home ＞ 投資家情報 ＞ その他IR情報 ＞ よくあるご質問　https://www.artner.co.jp/ir/other/faq

お問い合わせ先

株式会社アルトナー　経営戦略本部 IR・PRグループ　TEL：050-3100-2163
お問い合わせフォーム：Home ＞ 投資家情報 ＞ その他IR情報 ＞ お問い合わせ・資料請求

複数の担当者で情報共有し対応しており、また、個人を特定した営利目的の繰り返しのお電話、メールの防止のため、お問い合わせ対応の際、担当者名は控えさせていただいております。
ご理解の程、よろしくお願い致します。

Copyright(C) 2026 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved